

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 18 No.5 2016年3月15日

製品・サービス動向-国内

■ ブラザー工業の Web 会議システム

「OmniJoin」：テレビ会議接続サービスを開始

ブラザー工業株式会社 (<http://www.brother.co.jp/>) の国内販売会社であるブラザー販売株式会社（名古屋市瑞穂区）は、Web 会議システム「OmniJoin（オムニジョイン）」の新たなサービスとして、テレビ会議システム接続サービスを3月10日より開始する。



テレビ会議システム側から見た会議イメージ（ブラザー工業）

オムニジョインは、2012年9月よりサービスを開始した同社のWeb 会議システム。「ローコスト」「高画質・高音質」「簡単接続」の3つの特長がある。

このたび、テレビ会議システムをWeb 会議システム OmniJoin に接続することが可能になった。

テレビ会議システムを導入済みの拠点と未導入の拠点でテレビ会議を行う場合、未導入の拠点用に専用機材の追加導入が必要になるが、専用機材がいない OmniJoin とつなげることで、設備投資を抑えた Web 会議を実現するという。

また、PC だけでなく iOS 端末や Android 端末にも対応しているため、外出先からの参加も可能となり、円滑なコミュニケーションに貢献するとしている。

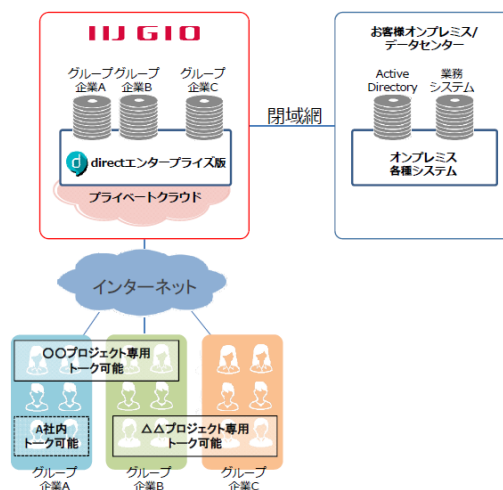
なお、対応しているテレビ会議システムのメーカー

および製品については同社の OmniJoin ページに掲載されている。

■ IJ と L is B：プライベートクラウド対応法人向けビジネスチャットシステム「direct エンタープライズ版」を提供開始

(3月9日)

株式会社インターネットイニシアティブ (<http://www.ij.ad.jp/>)（東京都千代田区）と株式会社 L is B (<https://direct4b.com/ja/>)（エルイズビー、東京都千代田区）は、プライベートクラウドで利用できる法人向けビジネスチャットシステム「direct エンタープライズ版」を3月31日より提供開始する。



Direct エンタープライズ版、概要図（IJ、L is B）

Direct は、直感的に操作できるユーザインターフェイス、社内システムとの連携機能や管理機能を有するなど、ビジネス利用に特化した企業向けビジネスチャットシステム。「IJ GIO サービス」にある顧客専

用のプライベートクラウド環境で direct を利用する形。

さまざまな事業部門や企業間を横断するプロジェクト毎に、決められたユーザ同士でしか情報を共有できないようにしたり、他のプロジェクトについては、参加者はもとより、そのプロジェクトの存在がわからないよう、管理者が設定することができる。

スマートフォンやタブレット端末の業務利用が加速するなかで、LINE や Facebook、Messenger などに代表されるチャットツールをビジネスの現場で安全に利用したいというニーズが高まっている。

IJ と Lis B は、2015 年 5 月 1 日に資本・業務提携し、「IJ GIO サービス」上で稼働するプライベートクラウド版 direct の開発を進めてきた。この度、direct エンタープライズ版として正式に提供を開始し、大手企業を中心に販売していくとしている。

ビジネス動向-国内

■オーストラリアの遠隔会議サービス事業者 コミュニ・クラウド、日本進出

(取材：3月4日)

電話会議・Web 会議・ビデオ会議といった遠隔会議ツールは、移動費や出張費の削減、意思決定の迅速化、社内のナレッジ共有の加速、ワークライフバランスなどさまざまなメリットをもたらすが、適切なツールを、適切なシーンで、正しい方法で利用することは、非常に難しい。

「遠隔会議サービスを提供する当社は、ユーザからのヒアリングをもとにしたコンサルティングを通して、いつ・だれが・どのツールを、利用シーンによってどのように使うべきか顧客とともに考え、最適なソリューションを提供し、アダプテーション(社内浸透)を図っていくことができるのが強みだ。」と語るのは、コミュニ・クラウド・ジャパン 代表取締役 福田 剛士 氏。

コミュニ・クラウド・ジャパン株式会社

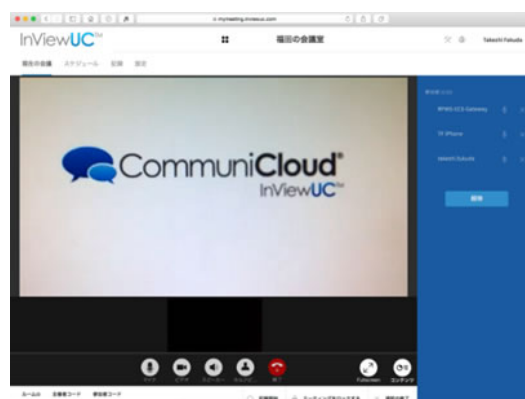
(<http://www.communicloud.co.jp/>) (横浜市中区) は、遠隔会議システムをクラウドサービスとして提供する会社。オーストラリアに 2010 年に設立された CommuniCloud Pty Ltd.の日本支社となる。ちなみに、今年 2 月に北米で開催された米ポリコム社のリセラーを対象とした年次イベント「TEAM Polycom 2016」(日本の関係会社も多数参加している)において、「2015 Circle of Excellence Award」を受賞した実績がある。

日本支社は、CommuniCloud 社としては初めての海外展開として、2015 年 2 月に横浜市に設立され、その代表に、BT ジャパン株式会社で遠隔会議、UC サービス事業に十年以上携わってきた福田氏が就任。設立から 1 年が経ち、コミュニ・クラウドが提供するサービスや今後の展開について話を伺った。

コミュニ・クラウドは、「MeetMe ボイス」(電話会議)、「MeetMe ウェブ」(Web 会議)、「MeetMe ビデオ」(ビデオ会議)に加え、昨今の UC トrendを取り込んだサービス提供となっている。

たとえば、ウェブ会議やビデオ会議関連では、PSTN 電話連携ができる他、スマートフォンやタブレットとの会議も行えるようになっている。

またユーザライセンスは、24 時間 365 日バーチャル会議室を持つことができる「ホストライセンス」(月額固定課金)方式を提供しており、いつでも必要な時に会議がおこなえるようになっている。あるいは、利用頻度が低い場合は、従量制課金での利用も可能だ。



InviewUC 画面 (コミュニ・クラウド・ジャパン)

今回取材にあたっては、コミュニ・クラウドのビデオ会議サービス「InviewUC」を利用して福田氏に取材した。InviewUCでは、会議予約を行うと、参加者に対して接続方法を案内したメールを送る。そのメールには、ブラウザ・SIP・H.323・マイクロフト「Skype for Business (Lync)」・電話（音声のみ）といった、それぞれからの会議室へのアクセス方法についての情報が記述されており、参加者はその中から最適な方法を選んで会議に参加できるようになっている。

CNAレポート・ジャパンの橋本は、ブラウザから会議室へのアクセスを試みた。リンクをクリックすると会議室へのポータルサイトがブラウザで立ち上がった。会議室ID（パスワード設定も可）はすでに自動入力されていたので、そこで自分の名前を入力し入室ボタンをクリックするとバーチャル会議室（VMR）に簡単に入れた。ちなみに、会議室に入る直前に自分の映像と音声の調整を行うこともできるようになっている。

一方、ユーザの遠隔会議利用を最適化するプロフェッショナルサービスとしては、イントラ整備や機器販売、ユーザ教育などの導入支援、現状調査と改善支援を行うコンサルティング、オンサイトでのイベント会議（ストリーミングなど）の企画から運営、アフターフォローまでのサポートを提供している。

加えて、ユーザのシステムを技術面からサポートするマネージドサービスも提供している。遠隔からユーザ端末を監視するサービス、一社一社きめこまかな窓口対応を行うためのサービスマネージャ、システム導入から運用まで支援するプロジェクト管理、貸し会議室なども行っている。

福田氏によると、今後、ビデオ会議サービス InviewUC をメインに販売していく考えだが、それに加えて、今後、日本市場に合わせたサービスを提供していきながら、コミュニ・クラウドの日本におけるプレゼンスを積極的に広めていきたいと強い意欲を見せる。

■日本 IBM：NTT アイティ、IBM クラウド「SoftLayer」採用、Web 会議システムの通信品質をグローバルで向上

（2月26日）

日本 IBM 株式会社 (<http://www.ibm.com/jp-ja/>) (東京都中央区) は、NTT アイティ株式会社 (<http://www.ntt-it.co.jp/>) (横浜市中区) の Web 会議システム「MeetingPlaza (ミーティングプラザ)」の稼働インフラ基盤に、IBM のパブリッククラウドサービス「SoftLayer (ソフトレイヤー)」が採用されたと発表。

SoftLayer の高品質ネットワークを活用することで、海外拠点を含めた Web 会議の通信品質の改善に貢献するとしている。

NTT アイティは、NTT 研究所で研究開発された先端技術などを製品・サービス化して世の中に広める役割を担うため、1997年に設立。2001年には Web 会議システム MeetingPlaza の提供を開始した。

近年、国内利用に加えて、グローバルの各地域から Web 会議利用ニーズに対応することが求められているという。そこで、このたび、NTT アイティは、グローバル拠点間で円滑に Web 会議を行えるサービスを実現するために、MeetingPlaza のインフラとして SoftLayer を採用した。

同社は、IBM クラウドの東京データセンターに加えて、米国西海岸、米国東海岸、オランダ、シンガポール、オーストラリア、香港のデータセンターに Web 会議の拠点を設置し、それらの間を高品質のネットワークで結び、Web 会議の通信品質の改善を実現したという。

SoftLayer は、世界中に配備されたデータセンターから、仮想サーバ、物理サーバ、ロードバランサ、ファイアーウォールなどを必要に応じて選択して利用することが可能で、各データセンター間は 10Gbps の高品質プライベートネットワークで接続されており、これらを全て無料で活用できるようになっている。

NTT アイティは、今回のネットワーク改善による通信品質の向上を参考に、今後も継続してネットワーク負荷を低減できる仕組みの構築のほか、Web 会議の拠点増設によるサービス提供地域の拡大を目指す。またモバイル対応の Web 会議を視野に入れた製品開発を推進するという。

■デルタパス：クルーグと販売代理店契約締結

(3月2日)

デルタパスジャパン株式会社 (<http://www.deltapath.co.jp/>) (東京都江東区) は、株式会社クルーグ (<http://www.qloog.com/ja/>) (神戸市中央区) と販売代理店契約を締結したと発表。

デルタパスジャパンは、あらゆる業界や企業規模の顧客へ UC ソリューションを提供するプロバイダ。人々がいつでも、どこからでも、どのようなデバイスからでもつながり、コラボレーションができる環境を提供することをビジョンにして 2001 年に設立。医療・教育・コールセンター・サービスオフィス・電気通信・小売・製造・公共部門などといった多くの業種の顧客から支持されており、94 か国で採用されている。

クルーグは、2008 年の設立当初から IP 電話や情報制御技術として使われる SIP 技術に深く携わり、さまざまなサービスや製品の研究開発を行ってきた実績を背景に、クラウド/オンプレミス型 IP-PBX 関連システムおよびサービスの開発・販売・保守をワンストップで提供する SIP ソリューションベンダ。

デルタパスは、クルーグはデルタパスの戦略的パートナーのポリコム製品を含む VoIP ソリューションの豊富な実績と経験を有しているため、UC 市場におけるデルタパスの更なる成長をクルーグとともに目指すとコメントしている。

ビジネス動向-海外

■ブイキューブ：インド最大手 Web 会議サービス事業者 INTELLISYS 社とビジュアルコミュニケーション分野で提携

(3月4日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、インドの最大手 Web 会議サービス事業者 INTELLISYS Technologies & Research Pvt. Ltd. (<http://www.intellisysin.com/>) (インド、コルカタ) と、ビジュアルコミュニケーション分野において提携する。



INTELLISYS 社 CEO Saumen Chakraborty 氏 (左)、ブイキューブ代表取締役社長 間下 直晃 氏 (右)

INTELLISYS 社は、狭帯域でも映像と音声のスムーズな送受信が可能な独自技術を持つ Web 会議サービス「Vennfer」を提供しており、インド国内では商務省などの政府機関や金融機関向けに US\$4000 万ドル (約 45 億円: US\$ 1=113 円換算) 規模の Web 会議サービス事業を展開している。創業は 2007 年。

今回の提携は、インド国内における「V-CUBE」サービスの提供と、アジアで使いやすいサービスを目指した技術交流が狙い。

INTELLISYS 社は、Vennfer と V-CUBE を顧客ニーズに合わせて提供することで、インド国内における収益拡大とビジュアルコミュニケーション市場自体の成長を目指す。また、INTELLISYS 社では、テレビ会議システム「V-CUBE Box」の販売が可能になることから、インド国内におけるテレビ会議市場にも進出する。

Vennfer は、アメリカやインドにおいて同社の優秀な技術者が共同開発している。128kbps という狭帯域における映像と音声のスムーズな送受信や複数拠点への同時配信を実現するマルチキャストに優れた技術を保有しており、大規模配信に強みがある。アジアにおけるインターネット環境は不安定な地域も多くあるため、ブイキューブは Vennfer と V-CUBE の技術交流を深め、より多くの地域で快適で使いやすいサービスへの進化を目指す。

今後、ブイキューブと INTELLISYS 社は、インドにおけるビジュアルコミュニケーション市場のニーズに合わせてサービス提供と技術交流を進めていく。また、ブイキューブグループで、教育 ICT 関連分野に強みを持つ Wizlearn Technologies 社や株式会社システム・テクノロジー・アイのサービスや知見も活用していくとしている。

導入・利用動向-国内

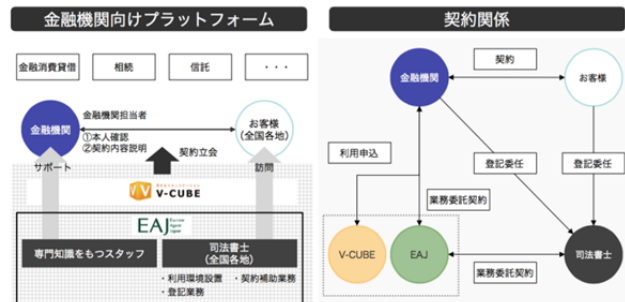
■西日本シティ銀行：エスクロー・エージェント・ジャパント・ジャパンとブイキューブの金融機関向けプラットフォームサービスを採用

(3月1日)

株式会社エスクロー・エージェント・ジャパント (http://www.ea-j.jp/) (東京都中央区、以下 EAJ) と株式会社ブイキューブ (https://jp.vcube.com/) (東京都目黒区) は、株式会社西日本シティ銀行 (http://www.ncbank.co.jp/) (福岡県福岡市) が、Web 会議を活用した各種金融商品の非対面販売に必要な専門業務を行う「金融機関向けプラットフォームサービス」におけるローン契約スキームを採用したと発表。

西日本シティ銀行は九州地方を中心に 190 店舗を展開し、多様化する顧客のニーズに的確に応えるため、手続きの利便性向上に向けた商品・サービスの開発を行っており、EAJ と西日本シティ銀行との間で、2016

年 1 月、業務委託契約を締結し、サービス提供を開始。



金融機関向けプラットフォーム概要 (EJ、ブイキューブ)

本プラットフォームサービスにより、遠隔地における契約締結手続きにおいて、顧客または金融機関担当者が遠方まで出向き対応していた時間およびコスト負担が軽減され、利便性や合理性が高まることにより顧客満足度の向上が図られると期待されている。

具体的なサービス内容は、ローン契約を締結する個人の顧客の自宅や外出先など希望する場所と時間に、EAJ のネットワークに登録する司法書士をはじめとした専門家、金融機関担当者がブイキューブのクラウド型 Web 会議を通して遠隔でつながり、金融商品の説明を受け、契約ができるもの。

EAJ とブイキューブは、2015 年 2 月に業務提携契約を締結。EAJ の 800 名を超える司法書士をはじめとした専門家の全国ネットワークおよび 20 行を超える金融機関での利用実績を活かしたエスクローサービスならびに BPO サービスと、ブイキューブが提供するクラウド型 Web 会議を組み合わせた、金融機関向けプラットフォームを構築し、これまで積極的に営業推進を行ってきた。

Report

■ブイキューブ：会議室設置型テレビ会議システム「V-CUBE Box」の設置・操作の「簡単さ」を検証する

※CNA レポート・ジャパン橋本啓介による V-CUBE Box 検証レポート

<http://www.nice2meet.us/ja/learn/difference/evaluate-v-cube-box-by-cna-report-japan.html>

PR

■株式会社日立ハイテクソリューションズ (テレビ会議ソリューション Acano)

<http://www.hitachi-hightech.com/hsl/products/ict/hightech-vision/acano.html/>

■ヤマハ株式会社

(USB スピーカーフォン FLX UC 500)

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

セミナー・展示会情報

<国内>

■失敗しない「Web 会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー ～ビジュアルコミュニケーションツールの選び方についてデモを交えてご紹介～

日時：3月17日(木)

第1回：13:00～14:30(受付：12:30～)

第2回：16:00～17:30(受付：15:30～)

会場：APA ホテル金沢駅前 珊瑚(石川県金沢市)

主催：株式会社ブイキューブ/HTNet 北陸通信ネットワーク株式会社

詳細・申込：

https://jp.vcube.com/event/seminar/20160226_1800.html

■ワークスタイル変革 実践事例セミナー ～コミュニケーション・コラボレーション変革からはじめるワークスタイル変革～

日時：3月23日(水) 15:00～17:00(受付：14:30～)

会場：リコージャパン ViCreA 東京 ショールーム(東京都中央区)

主催：株式会社リコー

詳細・申込：<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/15S243.html>

■V-CUBE Box を体験してみませんか？

日時：2月～6月 ※詳細日程は下記 URL。

会場：東京、名古屋、大阪

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：

https://jp.vcube.com/event/seminar/V-CUBE_BOX_2016.html

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

この定期レポートの発行は月2回ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック(遠隔会議&UCトレンドワッチ)

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter(CNA レポート・ジャパン)

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト(dtc-forum)

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2016年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2016年3月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp